

### 【糖尿病の診断基準改定について】

2010年7月1日より、新しい糖尿病診断基準が施行されました。これまでの①空腹時血糖 $\geq 126\text{mg/dl}$ 、②75g糖負荷試験2時間値 $\geq 200\text{mg/dl}$ 、③随時血糖値 $\geq 200\text{mg/dl}$ のいずれかに加え、④HbA<sub>1c</sub> $\geq 6.5\%$  (HbA<sub>1c</sub>[JDS値] $\geq 6.1\%$ )が追加されました。

なお、本書で使用したNSGP値(A1C)、HbA<sub>1c</sub>の用語は診断基準の改定の経過で、使用しないこととなりました。A1CをHbA<sub>1c</sub>、HbA<sub>1c</sub>をHbA<sub>1c</sub>[JDS値]に読み替えてください。

### 【妊娠糖尿病の診断基準改定について】

179 ページ 20～21 行目を以下に変更してください。

『妊娠中に発症もしくは初めて発見された耐糖能低下』が妊娠糖尿病である。

→『妊娠中にはじめて発見または発症した糖尿病にいたっていない糖代謝異常』は妊娠糖尿病(gestational diabetes:GDM)と診断される。

妊娠前から糖尿病が存在している場合は、糖尿病合併妊娠(preexisting diabetes)、妊娠中に糖尿病と診断された場合は、あきらかな糖尿病(overt diabetes)と判定し、妊娠糖尿病とは区別する。

180 ページ 表 2-5 を以下に差替えてください。

75gOGTTにおいて次の基準を1点以上満たした場合に診断する。

空腹時血糖値  $\geq 92\text{mg/dl}$

1時間値  $\geq 180\text{mg/dl}$

2時間値  $\geq 153\text{mg/dl}$

(糖尿病型と判定される場合は妊娠糖尿病から除外する)

IADPSG(International association of diabetes and pregnancy study group) Consensus Panel 2010(Diabetes Care 33:676-82, 2010)